

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】令和 1 年 10 月 31 日 (2019.10.31)

【公開番号】特開 2019-68829 (P2019-68829A)

【公開日】令和 1 年 5 月 9 日 (2019.5.9)

【年通号数】公開・登録公報 2019-017

【出願番号】特願 2018-237955 (P2018-237955)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/117 (2010.01)

A 6 1 K 31/7084 (2006.01)

A 6 1 K 38/21 (2006.01)

A 6 1 P 31/12 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/04 (2006.01)

C 1 2 P 21/00 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/117 Z N A Z

A 6 1 K 31/7084

A 6 1 K 38/21

A 6 1 P 31/12

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 35/04

C 1 2 P 21/00 F

C 1 2 N 5/10

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 9 月 13 日 (2019.9.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

有効量の環状ジヌクレオチドを含む、S T I N G 活性を増加させるための薬学的組成物であって、該環状ジヌクレオチドが、1 個の 2' - 5' ホスホジエステル連結および 1 個の 3' - 5' ホスホジエステル連結を含み、かつ該環状ジヌクレオチドのヌクレオシドがグアノシンおよびアデノシンからそれぞれ独立して選択される、薬学的組成物。

【請求項 2】

前記環状ジヌクレオチドが、グアノシンを含む、請求項 1 に記載の薬学的組成物。

【請求項 3】

前記環状ジヌクレオチドが、環状 [G (2' 5') p G (3' 5') p] である、請求項 2 に記載の薬学的組成物。

【請求項 4】

前記環状ジヌクレオチドが、アデノシンを含む、請求項 1 に記載の薬学的組成物。

【請求項 5】

前記環状ジヌクレオチドが、環状 [A (2' 5') p A (3' 5') p] である、請求項 4 に記載の薬学的組成物。

【請求項 6】

前記環状ジヌクレオチドが、アデノシンおよびグアノシンを含む、請求項 1 に記載の薬学的組成物。

【請求項 7】

前記環状ジヌクレオチドが、環状 [A (2 ' 5 ') p G (3 ' 5 ') p] である、請求項 6 に記載の薬学的組成物。

【請求項 8】

前記環状ジヌクレオチドが、環状 [G (2 ' 5 ') p A (3 ' 5 ') p] である、請求項 6 に記載の薬学的組成物。

【請求項 9】

細胞における I 型インターフェロン (I F N) の産生を増大させるために使用される、請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の薬学的組成物。

【請求項 10】

細胞増殖性疾患の治療に使用される、請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の薬学的組成物。

【請求項 11】

細胞増殖性疾患が癌である、請求項 10 に記載の薬学的組成物。